

# パーソナリティ・ アセスメント <入門>

**6 / 13**  
**(土)**

## 企画講師

筑波大学 名誉教授

**小川 俊樹** 先生

日時

2026年6月13日 (土)  
10時30分～16時45分

費用

8,500円 (税込)

定員

80名

会場

明治安田こころの健康財団 講義室  
住所：東京都豊島区高田3-19-10  
JR山手線、西武新宿線、  
東京メトロ東西線「高田馬場駅」より  
徒歩約7分

申込

財団HPより申し込み受付  
期限：6月11日(木)まで

## ベーシック講座 4



◆当財団は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として  
(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を  
受けております。 <承認期間:2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号:20210392>

◆当講座は(公社)日本公認心理師協会より「認定専門公認心理師」の認定にかかるテーマ別  
研修として承認されております <承認番号:26A-0007、分野共通、5単位>

# パーソナリティ・アセスメント <入門>

## 対象者

臨床心理士・公認心理師・スクールカウンセラー・相談員・教師・保育士等、またはそれらを目指している方、及び病院・学校・児童相談所・矯正施設・福祉施設等の各現場に関わっている専門家で当該心理検査について基礎から学ぼうとする人を対象とします。

本財団では2003年度から『パーソナリティ・アセスメント講座』と題し、心理臨床で採用されている心理テストの研修を意図した講座を開設しております。本講座では、当該のテストに関してはまったくの初心者を対象に心理アセスメント技法の基礎知識と実施法、解釈法などを学びます。

今回学習しますのは、ハンドテストとTATです。両テストとも、これまでも何度か本講座で取り上げてきているテストです。「手」は他者との交流やコミュニケーションの様態を示唆する身体の重要な部位ですが、ハンドテストは「手」の持つ意味に示唆された、ロールシャッハ・テストでも著名なワグナーの考案した投影法テストです。TATは日本ではその採用率は低いのですが、ロールシャッハ法と並んで代表的な投影法検査であり、その使用法によってはナラティブ・アプローチとしても活用できるテストでもあります。特定の心理テストではなく、心理臨床の場で話題となっているテーマを本講座では開設しておりますが、今年度は高次脳機能障害の心理臨床での神経心理アセスメントについて講師の体験を基にお話いただくことにしました。講師は心理臨床の現場でご担当の心理検査に豊かな経験のある方々です。受講者の皆さんには、本講座を通して、各心理テストの臨床的効用と限界を理解し、レポートリーを広げるきっかけとなっただけならば幸いです。

【企画講師 小川俊樹】

	時間	テーマ / 講師 (敬称略)
プログラム	10:30~12:10	ハンドテスト / 佐々木 裕子(自治医科大学 教授)
	12:10~13:10	～ 昼 食 ～ (各自お召し上がりください)
	13:10~14:50	TAT / 高瀬 由嗣(明治大学 教授)
	15:05~16:45	心理アセスメントの現場から:高次脳機能障害 / 市毛千里(横浜市総合リハビリテーションセンター)

## <注意事項>

・時間割・テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【主催】公益財団法人 明治安田こころの健康財団

【照会先】 〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10 E-mail: [moushikomi@my-kokoro.jp](mailto:moushikomi@my-kokoro.jp)

TEL: 03-3986-7021 FAX: 03-3590-7705